



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月29日

上場会社名 株式会社 サークルKサンクス 上場取引所 東・名  
 コード番号 3337 URL http://www.circleksunkus.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中村 元彦  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理財務本部長 (氏名)山口 利隆 (TEL)03-6220-9005  
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	145,481	△1.2	19,841	18.6	19,548	21.3	6,779	△5.1
23年2月期第3四半期	147,223	△1.7	16,727	23.6	16,111	22.8	7,145	35.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	80 95	—
23年2月期第3四半期	85 32	—

(参考) チェーン全店売上高

24年2月期第3四半期 744,188百万円(前年同四半期増減率 6.7%)

23年2月期第3四半期 697,591百万円(前年同四半期増減率 1.0%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第3四半期	256,428	140,028	54.6	1,671 94
23年2月期	240,027	136,672	56.9	1,631 86

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 140,028百万円 23年2月期 136,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	20 00	—	20 00	40 00
24年2月期	—	20 00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,320	△2.1	18,700	0.7	18,000	3.0	5,500	△23.2	65 67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	86,183,226株	23年2月期	86,183,226株
24年2月期3Q	2,431,334株	23年2月期	2,430,976株
24年2月期3Q	83,752,150株	23年2月期3Q	83,753,328株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

その他特記事項としては、チェーン全店売上高には、(株)ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーの売上高は含まれておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
【第3四半期連結累計期間】 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高 .....	10
(2) コンビニエンスストア事業に係る店舗数 .....	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災後の東北地域を中心とした復興需要が見られたものの、欧州債務問題に端を発する金融不安により急速な円高や国内株安が進行し、足下の景気動向は減速傾向を強めました。

このような状況の中で、当第3四半期連結累計期間の営業総収入は、加盟店からの収入は増加したものの、政策的に自営店の削減を進めた結果、自営店売上高が減少したことから、前年同期比1.2%減の1,454億8千1百万円となりました。営業利益については、販売費及び一般管理費が減少したことから、前年同期比18.6%増の198億4千1百万円となり、経常利益は前年同期比21.3%増の195億4千8百万円となりました。また、四半期純利益は、減損損失や資産除去債務・震災関連損失などの特別損失を79億4千3百万円計上したことから、前年同期比5.1%減の67億7千9百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間より、埼玉県において「サンクス」をチェーン展開するエリアフランチャイザーであるサンクス東埼玉株式会社を連結対象子会社としております。

当第3四半期連結累計期間においては、東北地域を中心とした被災地における既存店売上高前年比が高い伸び率を示したほか、全国的にも昨年10月の増税値上げによりタバコ売上が増加いたしました。また、ファーストフードや惣菜などのいわゆる「中食」商品や、デザート・カウンターフーズなどの主力オリジナル商品の売上も好調を維持しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における既存店売上高前年比（単体ベース）は4.0%増となり、当社、連結エリアフランチャイザー6社ならびに㈱9イチバを合わせたチェーン全店売上高は7,441億8千8百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

また、商品の平均値入率（単体ベース）については、ファーストフードや加工食品などのカテゴリー毎の値入率は大幅に改善したものの、低値入率商品であるタバコの売上が大幅に伸長しその売上構成比が上昇したことから、前年同期実績を0.67%ポイント下回る27.21%となりました。

<サークルKサンクス売上高前年比増減 月次推移>

(単位：%)

	上期	9月	10月	11月	9ヶ月累計
既存店	+4.6	△11.2	+16.4	+6.6	+4.0
全 店	+5.9	△9.9	+17.9	+8.2	+5.3

※上記の数値は、連結子会社を除く単体ベースです。

店舗運営面では、加盟店売上の強化策として全国テレビCMを投入し、積極的な販促活動を行いました。また、マーケット特性に応じた品揃え・売場づくりを徹底させるため、新たに「立地タイプ別レイアウト」に取り組みました。店舗の立地条件を5パターンに分類し、個店ごとの仮説に基づいた売場・品揃えの多様化を図りました。さらに、雑貨分類において自動発注システムを導入し、品切れ・チャンスロス防止に取り組みました。

商品開発面では、オリジナルデザート「Cherie Dolce」の更なる強化として「とろける生ティラミス」を発売したほか、パスタ、スープなどのオリジナル商品の強化も継続して行いました。カウンターフーズ分類の強化としては、フライヤーやコーヒーマシンの導入を拡大したほか、「仕上げのひと焼き」を加える「焼きとり」を当社の看板商品に育成すべく品揃えを強化いたしました。また、ユニーグループPB商品「Style ONE」の品揃えも拡充し、ロングライフ惣菜を中心に堅調な売上となりました。

サービス開発面では、独自のネット通販サイト「カルワザオンライン」を立ち上げ、当社の会員クラブ「カルワザクラブ」とのポイント連携、店舗での商品受取りなどネットとリアル店舗網を融合したサービス展開を行っております。店頭情報端末を活用した「おみせdeツーン」では、豊田通商株式会社が展開する介護商品を取扱うなど、高齢者に向けた品揃え拡大を図りました。

また、サークルKおよびサンクス店舗等における当第3四半期連結会計期間末時点での「ゼロバンク」ATMの設置台数は2,642台、「バンクタイム」ATMについては1,648台となりました。

(商品別の売上状況については、10ページ「コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高」をご参照下さい)

店舗開発面では、新たに「ミニ店舗」フォーマットでの出店を開始いたしました。投資コストの抑制とともに品揃えを絞り込み、駅構内や工場、オフィスビルなどの閉鎖商圏への出店を進めてまいります。当第3四半期連結累計期間における出店数は243店舗（内、みんなのイチバは5店舗）、閉店数は200店舗（内、みんなのイチバは3店舗）と43店舗の純増となりました。また、当第3四半期連結会計期間末店舗数は5,558店舗（内、みんなのイチバは63店舗）

となり、非連結のエリアフランチャイザーを含む当社グループの合計店舗数は6,300店舗となりました。

(期末店舗数の明細については、11ページ「コンビニエンスストア事業に係る店舗数」をご参照下さい)

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

流動資産は、有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて8.6%増加し、1,146億1千5百万円となりました。

固定資産は、リース資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて5.5%増加し、1,418億1千3百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、2,564億2千8百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて5.8%増加し、862億7千6百万円となりました。

固定負債は、「資産除去債務に関する会計基準」等の適用に伴う資産除去債務の計上などにより、前連結会計年度末に比べて38.0%増加し、301億2千3百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて12.6%増加し、1,164億円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、1,400億2千8百万円となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間より、株式取得によりサンクス東埼玉株式会社を新たに連結の範囲に含めておりません。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年9月27日公表の平成24年2月期の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

- ・固定資産の減価償却費の算定方法  
定率法を使用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法  
法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。  
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益が311百万円、経常利益が95百万円、税金等調整前四半期純利益が4,256百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は6,766百万円であります。

#### ②表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月16日）に基づく「財務諸表規則等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,259	68,932
加盟店貸勘定	3,603	3,037
有価証券	20,006	7,027
たな卸資産	1,608	1,843
繰延税金資産	1,150	1,327
未収入金	9,296	11,345
その他	17,900	12,249
貸倒引当金	△208	△191
流動資産合計	114,615	105,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,389	37,207
工具、器具及び備品(純額)	3,376	3,611
土地	8,259	8,295
リース資産(純額)	25,099	18,892
その他(純額)	428	125
有形固定資産合計	76,554	68,133
無形固定資産		
ソフトウェア	5,674	6,643
ソフトウェア仮勘定	20	279
のれん	2,373	769
その他	3,561	3,531
無形固定資産合計	11,629	11,223
投資その他の資産		
投資有価証券	2,520	2,523
繰延税金資産	4,403	3,148
差入保証金	40,743	43,569
その他	6,770	6,796
貸倒引当金	△809	△939
投資その他の資産合計	53,628	55,099
固定資産合計	141,813	134,455
資産合計	256,428	240,027

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,145	33,706
加盟店借勘定	1,609	2,244
未払金	5,116	6,464
未払法人税等	3,440	4,342
預り金	28,263	27,561
賞与引当金	1,569	1,448
その他	7,131	5,764
流動負債合計	86,276	81,533
固定負債		
リース債務	11,682	9,030
退職給付引当金	123	70
資産除去債務	6,603	—
長期預り保証金	9,568	10,160
長期リース資産減損勘定	945	995
その他	1,201	1,564
固定負債合計	30,123	21,821
負債合計	116,400	103,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,380	8,380
資本剰余金	36,090	36,092
利益剰余金	100,164	96,738
自己株式	△5,032	△5,032
株主資本合計	139,603	136,179
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	425	493
評価・換算差額等合計	425	493
純資産合計	140,028	136,672
負債純資産合計	256,428	240,027

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
営業収入		
加盟店からの収入	78,459	82,501
その他の営業収入	9,135	8,929
営業収入合計	87,594	91,430
売上高	59,628	54,051
営業総収入合計	147,223	145,481
売上原価	45,447	41,352
営業総利益	101,775	104,129
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	11,615	11,910
賞与引当金繰入額	1,758	1,569
退職給付引当金繰入額	647	620
賃借料	38,041	37,845
減価償却費	8,560	9,450
貸倒引当金繰入額	13	—
その他	24,410	22,891
販売費及び一般管理費合計	85,047	84,287
営業利益	16,727	19,841
営業外収益		
受取利息	343	282
受取配当金	77	57
受取補償金	163	128
その他	83	134
営業外収益合計	667	602
営業外費用		
支払利息	189	261
解約損害金	1,040	539
貸倒引当金繰入額	—	63
その他	53	31
営業外費用合計	1,283	896
経常利益	16,111	19,548

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
特別利益		
固定資産売却益	32	119
解約損害金受入	—	115
貸倒引当金戻入額	—	75
段階取得に係る差益	—	258
その他	—	25
特別利益合計	32	594
特別損失		
固定資産処分損	157	160
減損損失	3,093	2,813
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,028
災害による損失	—	864
その他	105	76
特別損失合計	3,356	7,943
税金等調整前四半期純利益	12,787	12,198
法人税、住民税及び事業税	6,444	6,451
法人税等調整額	△802	△1,031
法人税等合計	5,642	5,419
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,779
四半期純利益	7,145	6,779

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

全セグメントの営業総収入の合計、営業利益の合計額に占めるコンビニエンスストア事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

在外連結子会社および在外支店がないため記載していません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

海外売上高がないため記載していません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高

商品別	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)			当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)			前連結会計年度 (自平成22年3月1日 至平成23年2月28日)		
	金額	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前期比
	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
〈㈱サークルKサンクス 他〉									
ファーストフード	109,997	17.0	98.6	113,340	16.7	103.0	144,726	16.9	99.5
生鮮食品	82,583	12.8	97.6	80,874	11.9	97.9	107,387	12.6	98.7
加工食品	187,118	29.0	97.7	184,704	27.1	98.7	244,315	28.6	98.1
食品小計	379,699	58.8	98.0	378,919	55.7	99.8	496,429	58.1	98.7
非食品	225,101	34.8	99.0	258,316	37.9	114.8	302,647	35.4	101.3
サービス	41,362	6.4	110.6	43,476	6.4	105.1	55,932	6.5	111.3
計	646,164	100.0	99.0	680,712	100.0	105.3	855,010	100.0	100.3
〈エリアフランチャイザー 他〉									
ファーストフード	8,299	16.1	139.0	9,895	15.6	119.2	10,903	16.0	138.8
生鮮食品	7,603	14.8	127.2	8,432	13.3	110.9	9,909	14.5	126.8
加工食品	16,121	31.4	130.8	17,965	28.3	111.4	21,013	30.8	129.8
食品小計	32,024	62.3	131.9	36,293	57.2	113.3	41,826	61.3	131.3
非食品	17,246	33.5	138.0	24,122	38.0	139.9	23,366	34.3	141.8
サービス	2,156	4.2	163.6	3,060	4.8	141.9	2,982	4.4	163.2
計	51,427	100.0	135.0	63,476	100.0	123.4	68,174	100.0	135.9
合計	697,591	—	101.0	744,188	—	106.7	923,185	—	102.3

(注) 1 数量は品目が多岐にわたり、表示することが困難かつ適切でないため記載を省略しております。

2 「エリアフランチャイザー 他」の項目には、㈱ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーは含まれておりません。

なお、㈱99イチバの商品別売上高を含めております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) コンビニエンスストア事業に係る店舗数

(単位：店)

地域別	チェーン全店店舗数			
	(平成22年11月30日現在)	(平成23年11月30日現在)	比較増減	(平成23年2月28日現在)
<㈱サークルKサンクス>				
北海道	189	190	1	191
青森県	107	106	△ 1	108
岩手県	89	90	1	90
秋田県	100	95	△ 5	95
宮城県	110	104	△ 6	110
山形県	49	46	△ 3	49
福島県	22	20	△ 2	21
茨城県	53	54	1	53
群馬県	13	14	1	14
千葉県	132	130	△ 2	132
埼玉県	30	29	△ 1	30
東京都	588	584	△ 4	590
神奈川県	329	338	9	334
新潟県	98	100	2	98
富山県	66	70	4	68
石川県	107	116	9	110
福井県	43	42	△ 1	43
長野県	129	133	4	132
岐阜県	257	266	9	258
静岡県	290	298	8	290
愛知県	964	980	16	973
三重県	221	229	8	223
滋賀県	46	48	2	46
京都府	108	109	1	107
大阪府	398	398	—	400
兵庫県	171	167	△ 4	170
奈良県	47	45	△ 2	47
和歌山県	22	21	△ 1	22
岡山県	130	130	—	126
広島県	47	48	1	48
福岡県	21	33	12	23
計	4,976	5,033	57	5,001

(単位:店)

地域別	チェーン全店店舗数			
	(平成22年11月30日現在)	(平成23年11月30日現在)	比較増減	(平成23年2月28日現在)
<エリアフランチャイザー他>				
サークルケイ四国㈱	166	169	3	168
サンクス青森㈱	68	73	5	70
サンクス西埼玉㈱	89	94	5	88
サンクス東埼玉㈱	71	68	△ 3	70
サンクス東海㈱	119	120	1	118
サンクス京阪奈㈱	102	103	1	102
サンクス西四国㈱	81	80	△ 1	81
㈱サンクスアンドアソシエイツ東四国	118	123	5	122
㈱サンクス・ホクリア	100	100	—	100
㈱サンクスアンドアソシエイツ富山	77	—	△ 77	75
㈱サンクス北関東	43	47	4	44
南九州サンクス㈱	109	108	△ 1	108
㈱シー・ヴィ・エス・バイエリア	127	119	△ 8	127
㈱99イチバ	62	63	1	61
計	1,332	1,267	△ 65	1,334
サークルKサンクスグループ合計	6,308	6,300	△ 8	6,335

(注) 株式会社サンクスアンドアソシエイツ富山とのエリアフランチャイズ契約は平成23年7月に終了しております。